

平成27年12月15日

第71回 神戸市個人情報保護審議会

神戸市看護大学学務システムの再構築について

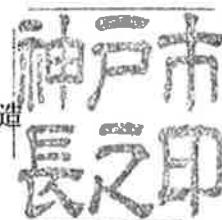
(保健福祉局)



保看大第 4710 号
平成27年12月15日

神戸市個人情報保護審議会
会長 西村裕三様

神戸市長 久元喜造



諮 問

神戸市個人情報保護条例第11条第1項の規定に基づき、下記の事項について、
貴会の意見を求めます。

記

神戸市看護大学学務システムの再構築について
(条例第11条「電子計算機処理の制限」に関して)

担当：保健福祉局看護大学事務局総務課

神戸市看護大学学務システムの再構築について
(条例第 11 条「電子計算機処理の制限」に関して)

下線は、今回の再構築により追加するもの

【受験者情報】

入試年度
受験番号
氏名 (漢字・フリガナ)
性別
生年月日
郵便番号・住所
電話番号 (電話・携帯・FAX)
受付年月日
受験区分
合格区分
出身校
卒業 (修了) 年月日
調査書点数
評価
看護大学入学試験 (筆記試験・面接) 得点・順位・合否
大学入試センター試験受験科目・得点

【学籍情報】

学籍番号
学生区分
専攻領域 (大学院生)
入学年月日
学年
学生氏名 (漢字・フリガナ)
旧姓
留学生区分
性別
生年月日
郵便番号・住所
本籍 (都道府県・国籍)
電話番号 (電話・携帯・FAX)
E-mail
顔写真
受験番号
出身校・卒業 (修了) 年月日

学年
クラス
履修登録区分
異動情報 (休学・復学・留年・退学)
クラブ活動・自治会活動
担任・指導教員
奨学生情報
授業料納付書送付先区分
市内・市外区分
授業料減免情報
勤務先名・電話番号 (大学院生)
職歴 (大学院生)
卒業 (修了) 年月日
卒業 (修了) 証書番号
論文テーマ (大学院生)
就職先 (名称・所在地)
保護者 (保証人) 情報 (氏名・続柄・郵便番号・住所・電話番号)

【教職員情報】

教員番号
氏名 (漢字・フリガナ)
性別
生年月日
郵便番号・住所・メールアドレス
電話番号
在籍区分
職種区分
役職
入職年月日・退職年月日

【成績情報】

学籍番号
履修科目
履修期
授業区分
単位数
必修・選択区分
教員名
素点
成績評価
GPA

神戸市看護大学学務システムの再構築について

1. 趣旨

神戸市看護大学では、開学時（平成8年4月）に導入した学務システムをソフトの部分的改修を加えながら運用してきた。同システムはNEC製オフコンの独自OS上で開発されたプログラムであり、入学試験業務、学籍管理業務、履修登録業務、成績管理業務を処理してきたが、現行システムが陳腐化して使い勝手が悪く、また、システムに対応する機器の製造・販売が中止となったため、学務システムを再構築する。

なお、看護大学の学務システムについては、第21回神戸市個人情報保護審議会（平成7年11月17日）「神戸市看護大学学内事務のシステム化について」により承認をいただいている。

新システムでは、多くの大学が一般的に運用しているパッケージシステムを導入して学生に関する情報の一元管理を行うとともに、Webによる履修登録、成績登録、シラバスの作成ができるようにして、利用者（学生、教員）の利便性向上、事務負担の軽減を図る。

2. 新システムの概要

- (1) 全国で170校を超える大学に導入実績のあるパッケージ化されたシステムを導入し、学生に関する情報を一元管理する。
- (2) システムで利用するサーバはサーバ室（情報処理室準備室）に設置し、事務室の専用端末（4台）、プリンタとは学内LANで接続する。
- (3) また、Webサーバはインターネットに接続して、学生による履修登録、教員による成績登録・シラバス入力をインターネットを介して行えるようにする。Webサーバへのアクセスは個人ごとのID・パスワードによる認証を行い、通信はHTTPSにより暗号化する。

Webサーバにデータは保存せず、シラバス・時間割・入力用フォームにアクセスするためのプログラムを保存する。

- (4) 学務システムでは、次の業務を行う。

ア 入試業務	志願者、入学試験の情報を処理し、入試業務を支援する。
イ 学籍管理	学生の氏名、学籍番号、住所等の情報を管理する。
ウ 履修登録	学生が、Web経由で履修科目を登録する。
エ 成績登録	教員がWeb経由で成績を登録する。
オ 成績処理	学生の履修・成績情報を管理し、学生指導の支援、卒業判定等に資する。
カ 証明書作成	各種証明書の迅速な発行を支援する。
キ シラバス作成	教員がWeb経由でシラバスの入力を行う。
- (5) 他のシステムとの情報の授受については、現行と同じ方式で、大学入試センターとの間で志願者の情報、看護大学合格者の情報を授受する。（第24回神戸市個人情報保護審議会（平成8年11月8日）承認済み）

3. 新システム導入の効果

- (1) 学生に関する情報をシステムで一元管理することにより、情報の機密性、完全性を高めることができる。
- (2) 多くの大学が採用しているWeb経由での学生の履修登録、教員の成績登録・シラバス入力

が可能となり、利用者（学生・教職員）の利便性が向上するとともに、職員の事務負担の軽減を図ることができる。

- (3) 現行システムはメニュー選択等を全てキーボード操作で行うオフコン仕様のシステムであるが、Windows に慣れた職員にとって操作しやすい新システムの導入により、事務の効率化を図ることができる。

4. スケジュール

平成 27 年 12 月 個人情報保護審議会
システム構築

平成 28 年 1 月 運用開始

5. 処理件数

約 13,500 件（年間）在席学生数 480 人）

（内訳）入試処理	約 500 件
学籍処理	約 500 件
成績処理	約 9,500 件
証明書等発行	約 3,000 件 等

6. 個人情報の保護

「神戸市個人情報保護条例」、「電子計算機処理に係るデータ保護管理規程」、「神戸市情報セキュリティポリシー」に基づき、下記のとおり厳格に対処する。

(1) システム上の保護

- ア システムへのアクセスにあたっては、個人ごとの ID 及びパスワードによる認証を行い、専用端末機の操作については関係教職員に限定し、個人ごとに操作できる業務を限定する。
- イ 個人情報に係るデータベースについては、端末機にはデータを保存せず、学内サーバ室（情報処理室準備室）の施錠されたラック内に設置する専用サーバに保存する。
- ウ インターネットとの接続についてはファイアウォールを設け、また、外部クライアント・Web サーバ間の通信は HTTPS を利用して暗号化する。
- エ Web サーバと AP/DB サーバとの間の通信については、特定のポート番号にしたがって通信を許可し、その他の通信は全て拒否するよう設定して、外部クライアントからはシステムのデータに直接アクセスできないようなシステム構成とする。
- オ 専用端末は学務システム業務にのみ使用し、メールソフトその他学務システム業務に関係のないソフトウェアはインストールしない。
- カ サーバ、専用端末機にウイルス対策ソフトを常駐させる。

(2) 運用上の保護

- ア サーバは常時施錠したラック内に保管し、当該鍵の使用は関係者のみに限定する。
- イ バックアップ用の媒体についても、施錠された保管庫に厳重に保管する。
- ウ 端末機を利用する際のパスワードは定期的に変更する。また、端末機は使用時以外は施錠可能なラックに保管する。

- エ データ分析、資料作成等のためシステムから個人情報を取り出す場合は、管理簿に記録し、厳密に管理する。
- オ 大学入試センターとの通信は、データを暗号化するとともに、入試センターに予め登録する特定のPCにより、また入試センターが設定する特定の時間にのみ行う。また、当該PCは入試センターの通信にのみ使用し、当該PC内にはデータは一切保存しない。
- カ 個人情報の適正な取扱いを確保するために、関係教職員に対して必要な研修及び指導を行うとともに、個人情報の適正管理について点検を行う。

神戸市看護大学学務システムの再構築について

